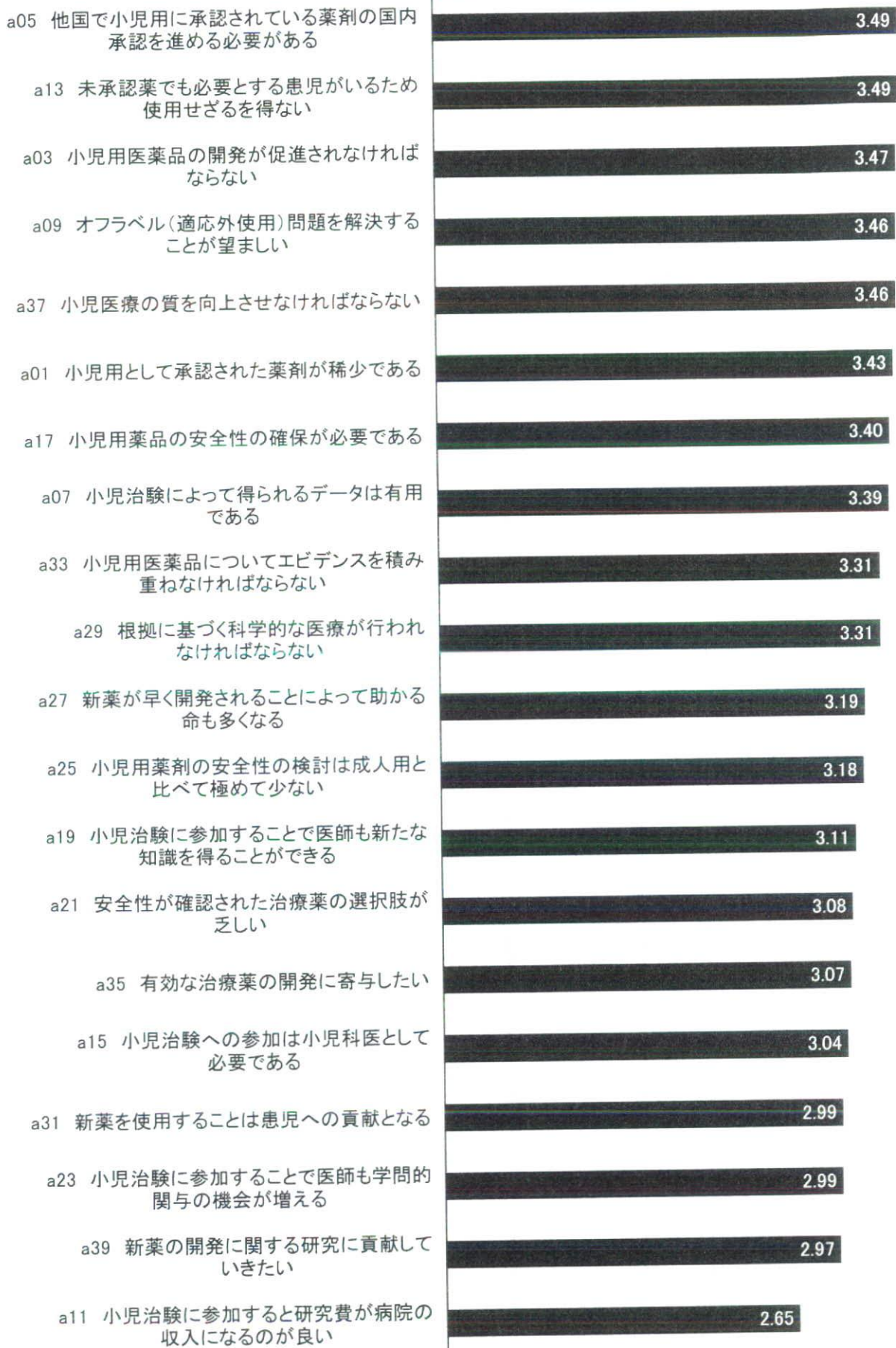


Aa: 小児治験の実施に対する意識（促進要因）の記述統計

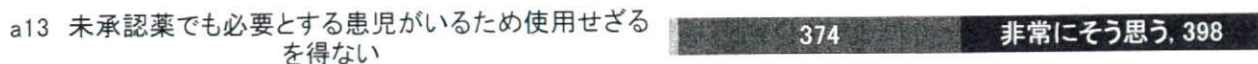
	度数						
	有効	欠損値	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	787	3	3.43	0.577	1	4	3
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	757	33	3.47	0.545	1	4	3
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	787	3	3.49	0.532	1	4	4
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	783	7	3.39	0.516	1	4	3
a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい	787	3	3.46	0.524	2	4	3
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	774	16	2.65	0.715	1	4	3
a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない	784	6	3.49	0.530	2	4	4
a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	778	12	3.04	0.540	1	4	3
a17 小児用薬品の安全性の確保が必要である	788	2	3.40	0.498	2	4	3
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	785	5	3.11	0.526	1	4	3
a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	786	4	3.08	0.584	1	4	3
a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	783	7	2.99	0.506	1	4	3
a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	786	4	3.18	0.617	1	4	3
a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	784	6	3.19	0.572	2	4	3
a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	784	6	3.31	0.518	2	4	3
a31 新薬を使用することは患児への貢献となる	768	22	2.99	0.533	2	4	3
a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	786	4	3.31	0.501	2	4	3
a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	779	11	3.07	0.524	1	4	3
a37 小児医療の質を向上させなければならない	786	4	3.46	0.514	1	4	3
a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	779	11	2.97	0.583	1	4	3

0 0.5 1 1.5 2 2.5 3 3.5 4



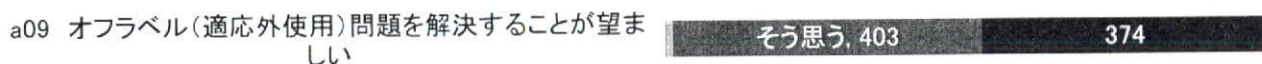
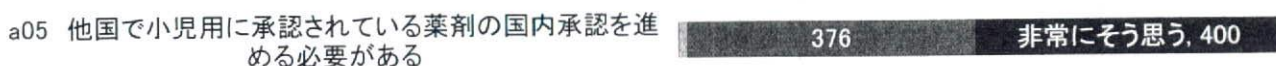
まったくそう思わない
 そう思わない
 そう思う
 非常にそう思う
 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%



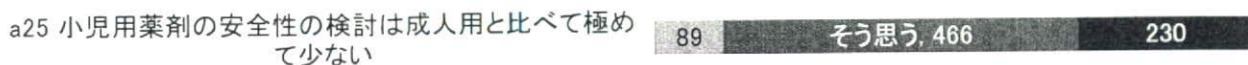
まったくそう思わない
 そう思わない
 そう思う
 非常にそう思う
 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



まったくそう思わない
 そう思わない
 そう思う
 非常にそう思う
 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%

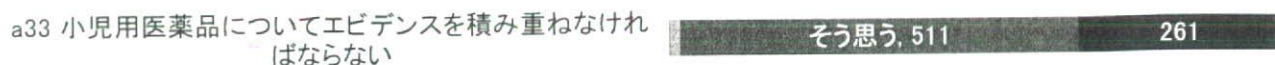


まったくそう思わない
 そう思わない
 そう思う
 非常にそう思う
 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ まったくそう思わない ■ そう思わない ■ そう思う ■ 非常にそう思う
 0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ まったくそう思わない ■ そう思わない ■ そう思う ■ 非常にそう思う ■ 無回答
 0% 20% 40% 60% 80% 100%



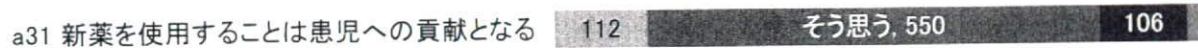
■ まったくそう思わない ■ そう思わない ■ そう思う ■ 非常にそう思う ■ 無回答
 0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ まったくそう思わない ■ そう思わない ■ そう思う ■ 非常にそう思う ■ 無回答
 0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ まったくそう思わない ■ そう思わない ■ そう思う ■ 非常にそう思う ■ 無回答
 0% 20% 40% 60% 80% 100%



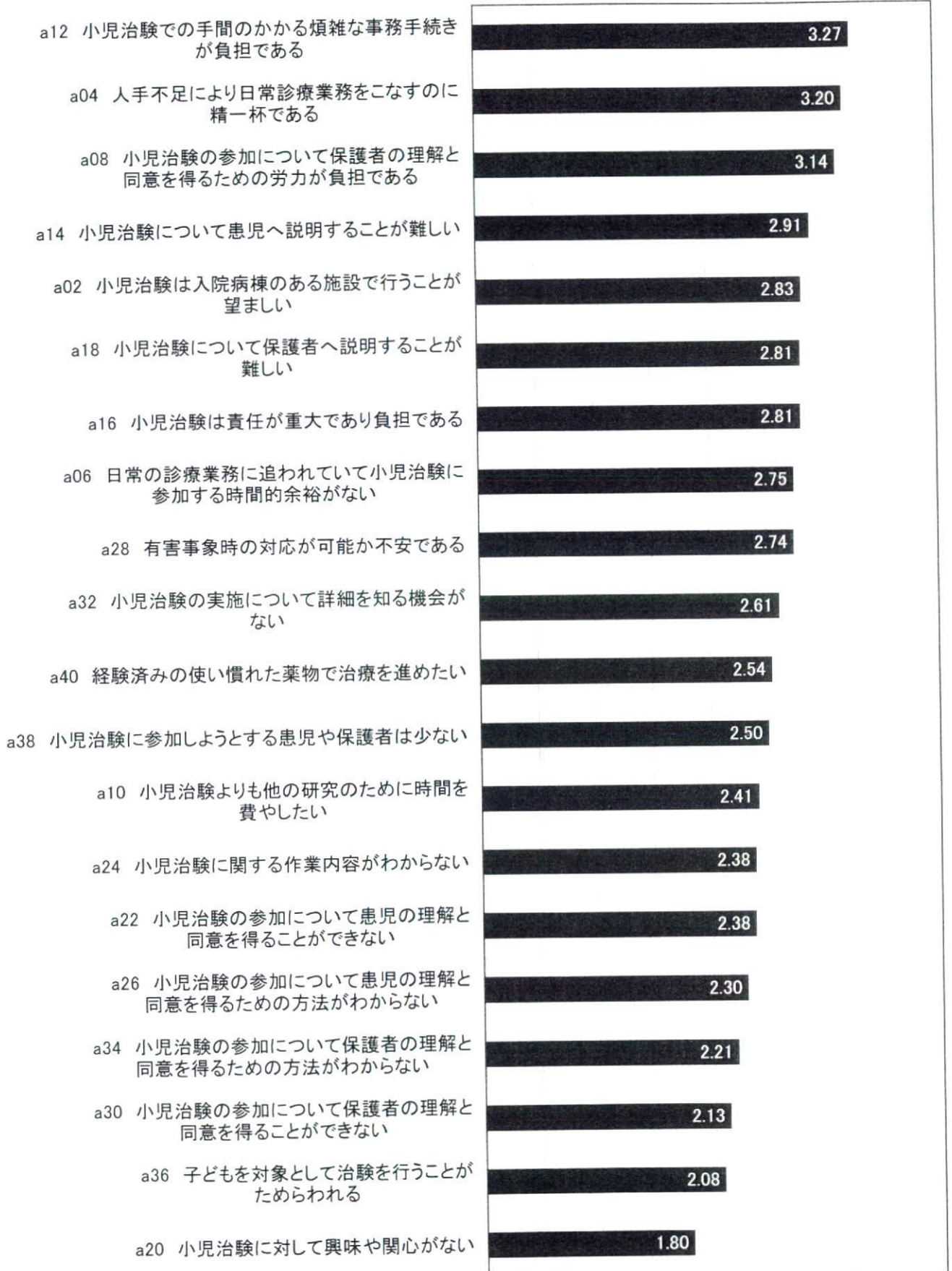
■ まったくそう思わない ■ そう思わない ■ そう思う ■ 非常にそう思う ■ 無回答
 0% 20% 40% 60% 80% 100%



Ab:小児治験の実施に対する意識（阻害要因）の記述統計

	有効	欠損 値	度数				最頻 値
			平均値	標準偏 差	最小 値	最大 値	
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	785	5	2.83	0.748	1	4	3
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	785	5	3.20	0.665	1	4	3
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	787	3	2.75	0.716	1	4	3
b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	785	5	3.14	0.664	1	4	3
b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	777	13	2.41	0.618	1	4	2
b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	784	6	3.27	0.590	1	4	3
b14 小児治験について患児へ説明することが難しい	784	6	2.91	0.675	1	4	3
b16 小児治験は責任が重大であり負担である	780	10	2.81	0.647	1	4	3
b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	782	8	2.81	0.704	1	4	3
b20 小児治験に対して興味や関心がない	783	7	1.80	0.578	1	4	2
b22 小児治験の参加について患児の理解と同意を得ることができない	776	14	2.38	0.684	1	4	2
b24 小児治験に関する作業内容がわからない	780	10	2.38	0.676	1	4	2
b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	781	9	2.30	0.607	1	4	2
b28 有害事象時の対応が可能か不安である	783	7	2.74	0.618	1	4	3
b30 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	776	14	2.13	0.556	1	4	2
b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	780	10	2.61	0.647	1	4	3
b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	775	15	2.21	0.575	1	4	2
b36 子どもを対象として治験を行うことがためらわれる	780	10	2.08	0.574	1	4	2
b38 小児治験に参加しようとする患児や保護者は少ない	780	10	2.50	0.673	1	4	2
b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	772	18	2.54	0.622	1	4	3

0 0.5 1 1.5 2 2.5 3 3.5 4





実施環境の問題



時間の問題



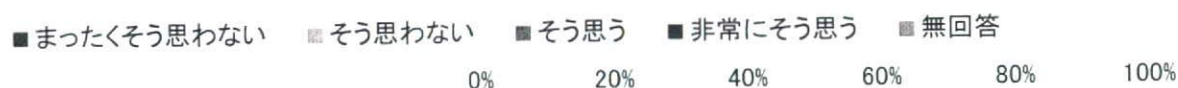
説明の問題



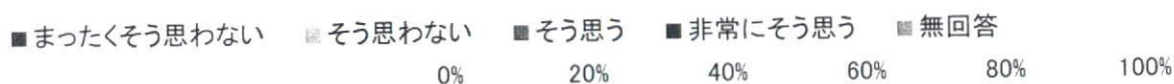
同意取得の問題



被験児不足の問題



人手不足の問題



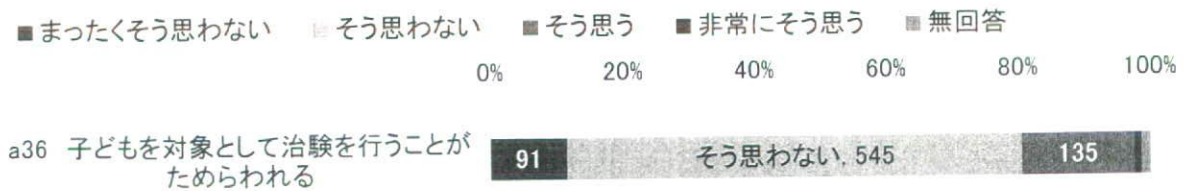
情報不足の問題



負担感の問題



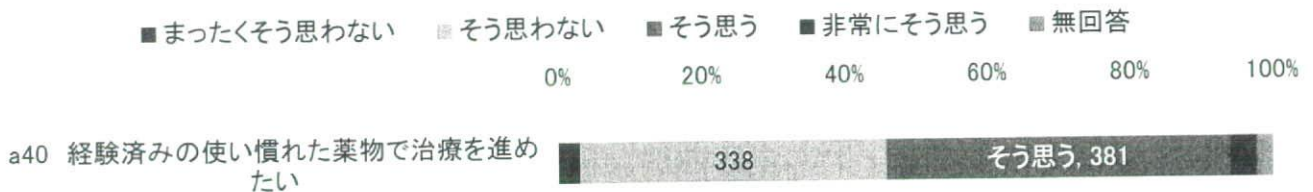
不安感の問題



抵抗感の問題



興味関心の問題



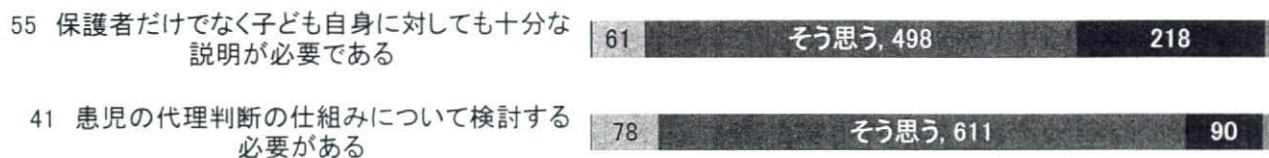
経験の問題

B:小児治験の課題に対する意識の記述統計

	度数						
	有効	欠損値	平均値	最頻値	標準偏差	最小値	最大値
41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	781	9	3.01	3	.475	1	4
42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	786	4	3.38	3	.505	1	4
43 専門性の高い小児治験コーディネーターを育成する必要がある	784	6	3.36	3	.539	1	4
44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	785	5	3.38	3	.517	1	4
45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	782	8	3.07	3	.569	1	4
46 「実験台にされる」という小児治験に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	786	4	3.26	3	.551	1	4
47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある	785	5	3.30	3	.518	1	4
48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	782	8	3.16	3	.548	1	4
49 適応外使用の現状について社会全体に啓発していく必要がある	784	6	3.41	3	.520	2	4
50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	771	19	3.09	3	.549	1	4
51 行政的な小児治験支援システムが構築される必要がある	779	11	3.33	3	.531	1	4
52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	783	7	3.42	3	.519	1	4
53 有害事象発生時の支援体制があると良い	784	6	3.47	3	.517	2	4
54 小児治験コーディネーターが病院内に常駐できると良い	781	9	3.29	3	.649	1	4
55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	780	10	3.19	3	.580	1	4
56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	781	9	3.29	3	.577	2	4
57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	784	6	3.38	3	.519	2	4
58 小児治験に精通した医師を養成する必要がある	784	6	3.19	3	.581	1	4
59 小児治験への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	781	9	3.12	3	.546	1	4
60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	773	17	3.21	3	.510	1	4

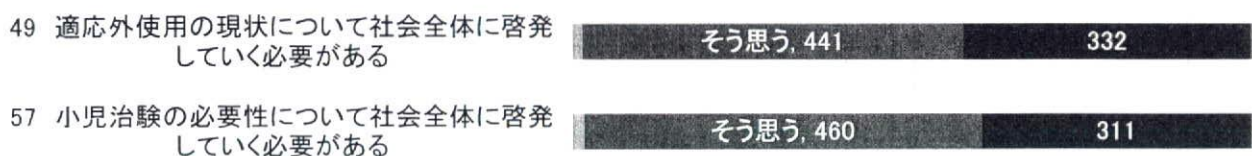
53	有害事象発生時の支援体制があると良い	3.47
52	保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	3.42
49	適応外使用の現状について社会全体に啓発していく必要がある	3.41
44	患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	3.38
57	小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	3.38
42	患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	3.38
43	専門性の高い小児治験コーディネーターを育成する必要がある	3.36
51	行政的な小児治験支援システムが構築される必要がある	3.33
47	小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある	3.30
54	小児治験コーディネーターが病院内に常駐できると良い	3.29
56	患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	3.29
46	「実験台にされる」という小児治験に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	3.26
60	医師へのインセンティブを考慮する必要がある	3.21
55	保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	3.19
58	小児治験に精通した医師を養成する必要がある	3.19
48	小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	3.16
59	小児治験への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	3.12
50	製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	3.09
45	開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	3.07
41	患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	3.01

■ まったくそう思わない ■ そう思わない ■ そう思う ■ 非常にそう思う ■ 無回答
0% 20% 40% 60% 80% 100%



インフォームド・アセント

■ まったくそう思わない ■ そう思わない ■ そう思う ■ 非常にそう思う ■ 無回答
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



一般社会への啓発

■ まったくそう思わない ■ そう思わない ■ そう思う ■ 非常にそう思う ■ 無回答
0% 20% 40% 60% 80% 100%



医療不信の払拭

■ まったくそう思わない ■ そう思わない ■ そう思う ■ 非常にそう思う
0% 20% 40% 60% 80% 100%



支援体制の工夫



リスク・トラブル対応



製薬会社への配慮

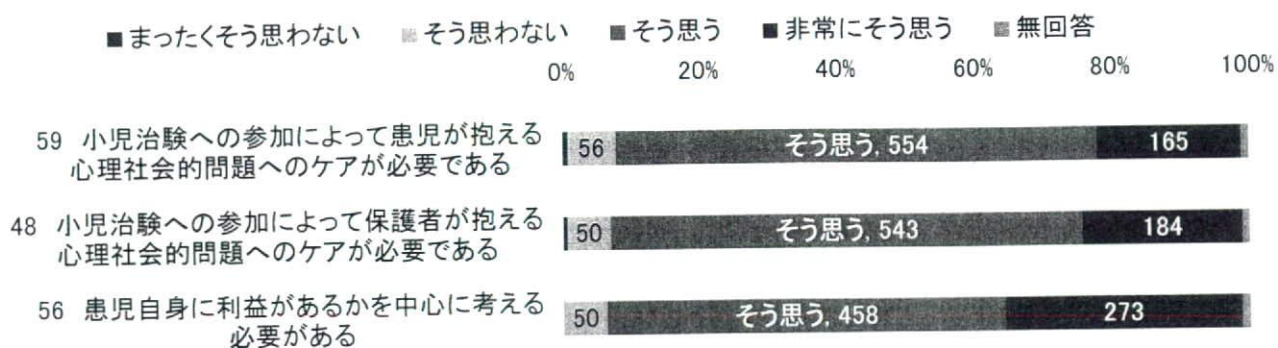


人材育成

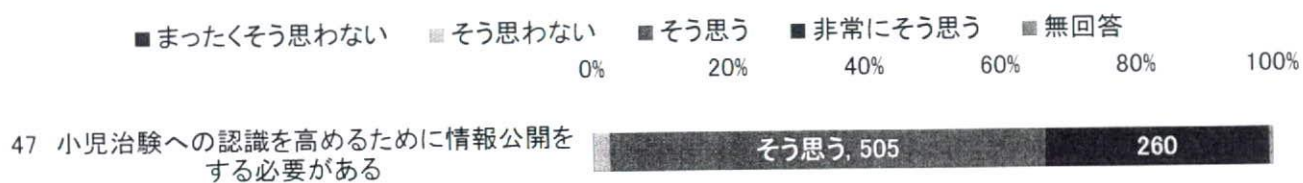


行政による取り組み

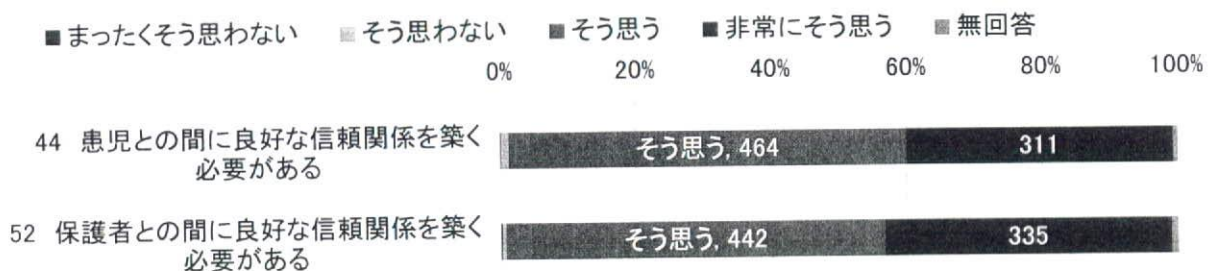




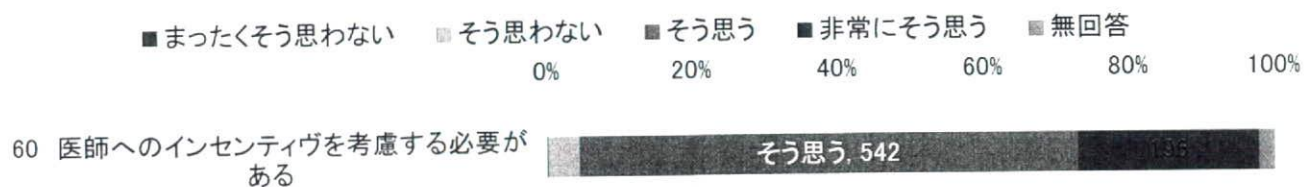
子どもと家族への配慮



情報不足



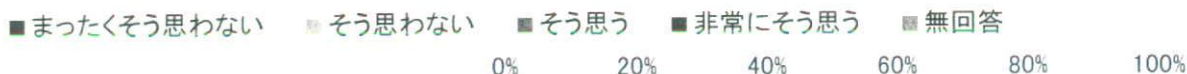
医師・患者との関係



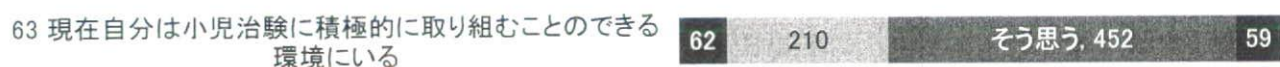
治験実施者への評価



医師個人の参加状況



小児治験の知識・技能



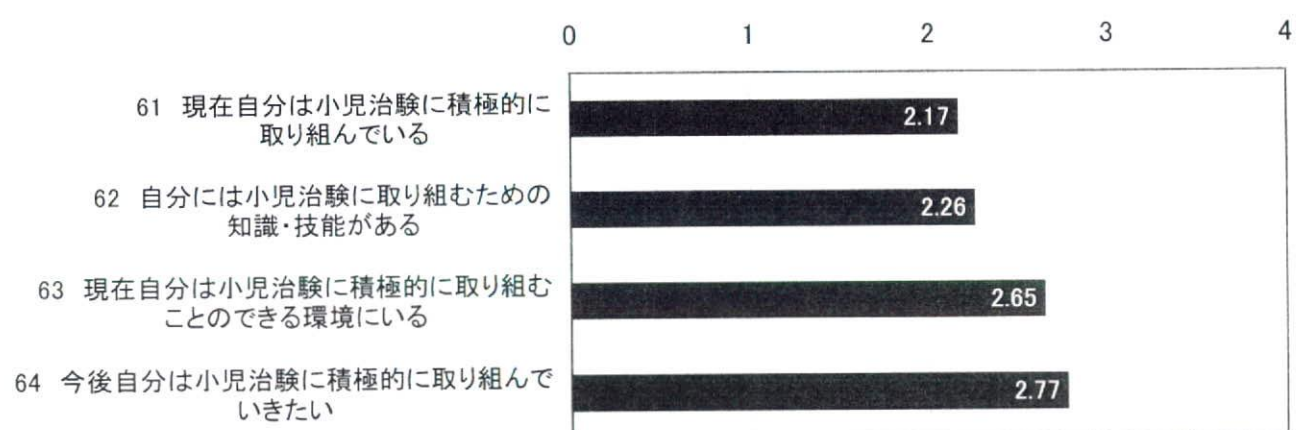
小児治験の実施環境



小児治験への参加意志

C:小児治験の参加に対する意識の記述統計

	度数						
	有効	欠損値	平均値	標準偏差	最小値	最大値	最頻値
61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	783	7	2.17	.831	1	4	2
62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	780	10	2.26	.754	1	4	2
63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる	783	7	2.65	.733	1	4	3
64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい	775	15	2.77	.624	1	4	3



資料 5

＜所属機関1別＞ Aa:小児治験の実施に対する意識（促進要因）の記述統計

属性	属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	属性	属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	国公立大学病院	321	3.430	.588	1	4	a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	国公立大学病院	319	3.100	.616	1	4
	私立大学病院	203	3.374	.587	2	4		私立大学病院	203	3.054	.556	2	4
	国公立小児病院	231	3.489	.558	2	4		国公立小児病院	232	3.082	.571	2	4
	私立小児病院	11	3.455	.522	3	4		私立小児病院	11	3.273	.467	3	4
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	国公立大学病院	304	3.520	.545	1	4	a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	国公立大学病院	318	3.003	.512	1	4
	私立大学病院	200	3.430	.545	1	4		私立大学病院	203	2.985	.482	2	4
	国公立小児病院	222	3.432	.548	2	4		国公立小児病院	231	2.970	.531	1	4
	私立小児病院	10	3.500	.527	3	4		私立小児病院	10	3.100	.316	3	4
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	国公立大学病院	321	3.483	.525	2	4	a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	国公立大学病院	320	3.175	.598	2	4
	私立大学病院	202	3.520	.539	1	4		私立大学病院	203	3.138	.653	1	4
	国公立小児病院	232	3.466	.541	2	4		国公立小児病院	231	3.221	.618	2	4
	私立小児病院	11	3.818	.405	3	4		私立小児病院	11	3.364	.505	3	4
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	国公立大学病院	318	3.396	.521	1	4	a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	国公立大学病院	319	3.219	.579	2	4
	私立大学病院	202	3.411	.532	2	4		私立大学病院	202	3.252	.547	2	4
	国公立小児病院	232	3.362	.499	2	4		国公立小児病院	231	3.104	.581	2	4
	私立小児病院	11	3.545	.522	3	4		私立小児病院	11	3.273	.467	3	4
a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい	国公立大学病院	321	3.502	.525	2	4	a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	国公立大学病院	320	3.347	.538	2	4
	私立大学病院	203	3.448	.527	2	4		私立大学病院	202	3.317	.517	2	4
	国公立小児病院	231	3.420	.520	2	4		国公立小児病院	230	3.261	.496	2	4
	私立小児病院	11	3.545	.522	3	4		私立小児病院	11	3.364	.505	3	4
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	国公立大学病院	317	2.681	.686	1	4	a31 新薬を使用することは患者への貢献となる	国公立大学病院	313	3.016	.557	2	4
	私立大学病院	200	2.605	.729	1	4		私立大学病院	200	3.000	.491	2	4
	国公立小児病院	225	2.831	.751	1	4		国公立小児病院	224	2.933	.536	2	4
	私立小児病院	11	2.909	.539	2	4		私立小児病院	11	3.273	.467	3	4
a13 未承認薬でも必要とする患者がいるため使用せざるを得ない	国公立大学病院	319	3.495	.531	2	4	a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	国公立大学病院	319	3.357	.506	2	4
	私立大学病院	202	3.515	.511	2	4		私立大学病院	203	3.300	.511	2	4
	国公立小児病院	231	3.481	.534	2	4		国公立小児病院	232	3.259	.486	2	4
	私立小児病院	11	3.455	.688	2	4		私立小児病院	11	3.455	.522	3	4
a15 小児治験への参加は小児科医にとって必要である	国公立大学病院	316	3.047	.529	1	4	a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	国公立大学病院	317	3.129	.527	1	4
	私立大学病院	202	3.050	.525	2	4		私立大学病院	200	3.045	.504	1	4
	国公立小児病院	228	3.009	.563	1	4		国公立小児病院	231	2.991	.527	1	4
	私立小児病院	11	3.364	.505	3	4		私立小児病院	11	3.091	.539	2	4
a17 小児用医薬品の安全性の確保が必要である	国公立大学病院	321	3.399	.497	2	4	a37 小児医療の質を向上させなければならない	国公立大学病院	320	3.472	.530	1	4
	私立大学病院	203	3.453	.499	3	4		私立大学病院	202	3.500	.501	3	4
	国公立小児病院	232	3.353	.497	2	4		国公立小児病院	232	3.405	.501	2	4
	私立小児病院	11	3.545	.522	3	4		私立小児病院	11	3.636	.505	3	4
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	国公立大学病院	319	3.138	.526	2	4	a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	国公立大学病院	317	3.047	.580	2	4
	私立大学病院	203	3.143	.492	2	4		私立大学病院	202	2.946	.557	1	4
	国公立小児病院	231	3.061	.546	1	4		国公立小児病院	229	2.882	.592	1	4
	私立小児病院	11	3.000	.447	2	4		私立小児病院	11	2.818	.751	1	4

<所属機関1別> Ab:小児治験の実施に対する意識(阻害要因)の記述統計

	属性						属性						
	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値		
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	国公立大学病院	321	2.863	.775	1	4	b22 小児治験の参加について患児の理解と同意を得ることができない	国公立大学病院	316	2.361	.701	1	4
	私立大学病院	202	2.871	.735	1	4		私立大学病院	200	2.375	.645	1	4
	国公立小児病院	230	2.735	.708	1	4		国公立小児病院	228	2.395	.698	1	4
	私立小児病院	11	2.636	.809	1	4		私立小児病院	11	2.545	.522	2	3
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	国公立大学病院	318	3.204	.645	2	4	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	国公立大学病院	319	2.376	.670	1	4
	私立大学病院	203	3.271	.638	2	4		私立大学病院	203	2.374	.673	1	4
	国公立小児病院	232	3.138	.707	1	4		国公立小児病院	228	2.404	.680	1	4
	私立小児病院	11	3.000	.632	2	4		私立小児病院	11	2.364	.924	1	4
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	国公立大学病院	320	2.709	.708	1	4	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	国公立大学病院	318	2.327	.620	1	4
	私立大学病院	203	2.828	.678	1	4		私立大学病院	202	2.257	.584	1	4
	国公立小児病院	232	2.728	.767	1	4		国公立小児病院	229	2.271	.604	1	4
	私立小児病院	11	2.818	.751	2	4		私立小児病院	11	2.545	.688	2	4
b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	国公立大学病院	319	3.116	.670	1	4	b28 有害事象時の対応が可能か不安である	国公立大学病院	317	2.754	.613	1	4
	私立大学病院	202	3.149	.667	2	4		私立大学病院	202	2.733	.605	1	4
	国公立小児病院	232	3.129	.665	1	4		国公立小児病院	232	2.720	.620	1	4
	私立小児病院	11	3.273	.647	2	4		私立小児病院	11	2.636	.809	1	4
b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	国公立大学病院	316	2.472	.593	1	4	b30 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	国公立大学病院	316	2.149	.575	1	4
	私立大学病院	200	2.410	.628	1	4		私立大学病院	200	2.180	.528	1	4
	国公立小児病院	229	2.341	.640	1	4		国公立小児病院	228	2.070	.535	1	4
	私立小児病院	11	2.091	.539	1	3		私立小児病院	11	2.182	.874	1	4
b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	国公立大学病院	319	3.266	.567	1	4	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	国公立大学病院	319	2.624	.651	1	4
	私立大学病院	202	3.297	.616	1	4		私立大学病院	202	2.594	.657	1	4
	国公立小児病院	231	3.251	.609	1	4		国公立小児病院	228	2.601	.632	1	4
	私立小児病院	11	3.091	.539	2	4		私立小児病院	11	2.818	.751	1	4
b14 小児治験について患児へ説明することが難しい	国公立大学病院	319	2.950	.671	1	4	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	国公立大学病院	316	2.259	.598	1	4
	私立大学病院	201	2.871	.702	1	4		私立大学病院	201	2.189	.578	1	4
	国公立小児病院	232	2.871	.658	1	4		国公立小児病院	227	2.145	.516	1	4
	私立小児病院	11	2.909	.701	2	4		私立小児病院	11	2.182	.751	1	3
b16 小児治験は責任が重大であり負担である	国公立大学病院	318	2.814	.631	1	4	b36 子どもを対象として治験を行うことが求められる	国公立大学病院	318	2.101	.569	1	4
	私立大学病院	200	2.870	.644	2	4		私立大学病院	202	2.084	.621	1	4
	国公立小児病院	230	2.761	.660	1	4		国公立小児病院	229	2.057	.539	1	4
	私立小児病院	11	2.909	.831	2	4		私立小児病院	11	2.182	.751	1	4
b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	国公立大学病院	318	2.818	.700	1	4	b38 小児治験に参加しようとする患児や保護者は少ない	国公立大学病院	317	2.486	.682	1	4
	私立大学病院	202	2.842	.716	1	4		私立大学病院	202	2.574	.689	1	4
	国公立小児病院	231	2.771	.688	1	4		国公立小児病院	229	2.441	.650	1	4
	私立小児病院	11	2.818	.874	1	4		私立小児病院	11	3.000	.632	2	4
b20 小児治験に対して興味や関心がない	国公立大学病院	319	1.787	.592	1	4	b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	国公立大学病院	314	2.567	.652	1	4
	私立大学病院	201	1.791	.605	1	3		私立大学病院	201	2.498	.567	1	4
	国公立小児病院	232	1.819	.560	1	4		国公立小児病院	228	2.531	.625	1	4
	私立小児病院	11	1.909	.302	1	2		私立小児病院	10	2.700	.675	2	4

<所属機関1別> B:小児治験の課題に対する意識の記述統計

属性		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	属性		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	国公立大学病院	319	3.044	.446	1	4	51 行政的な小児治験支援システムが構築される必要がある	国公立大学病院	316	3.380	.542	2	4
	私立大学病院	202	2.975	.523	2	4		私立大学病院	202	3.332	.541	1	4
	国公立小児病院	229	3.013	.463	2	4		国公立小児病院	230	3.287	.508	2	4
	私立小児病院	11	3.091	.302	3	4		私立小児病院	11	3.364	.505	3	4
42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	国公立大学病院	320	3.366	.489	2	4	52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	国公立大学病院	319	3.417	.537	1	4
	私立大学病院	202	3.421	.543	1	4		私立大学病院	202	3.455	.509	2	4
	国公立小児病院	232	3.371	.493	2	4		国公立小児病院	230	3.391	.498	2	4
	私立小児病院	11	3.273	.467	3	4		私立小児病院	11	3.455	.522	3	4
43 専門性の高い小児治験コーディネーターを育成する必要がある	国公立大学病院	320	3.344	.532	1	4	53 有害事象発生時の支援体制があると良い	国公立大学病院	320	3.478	.519	2	4
	私立大学病院	202	3.396	.557	1	4		私立大学病院	201	3.483	.521	2	4
	国公立小児病院	230	3.383	.530	2	4		国公立小児病院	231	3.442	.506	2	4
	私立小児病院	11	3.182	.405	3	4		私立小児病院	11	3.455	.522	3	4
44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	国公立大学病院	320	3.384	.524	1	4	54 小児治験コーディネーターが病院内に常駐できると良い	国公立大学病院	319	3.339	.618	1	4
	私立大学病院	202	3.421	.515	2	4		私立大学病院	200	3.305	.636	1	4
	国公立小児病院	231	3.364	.517	2	4		国公立小児病院	230	3.226	.694	1	4
	私立小児病院	11	3.455	.522	3	4		私立小児病院	11	3.091	.831	1	4
45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	国公立大学病院	318	3.097	.578	1	4	55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	国公立大学病院	318	3.211	.553	1	4
	私立大学病院	202	3.074	.606	1	4		私立大学病院	201	3.239	.610	1	4
	国公立小児病院	230	3.052	.518	1	4		国公立小児病院	229	3.144	.586	1	4
	私立小児病院	11	3.091	.831	1	4		私立小児病院	11	3.273	.647	2	4
46 「実験台にされる」という小児治験に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	国公立大学病院	320	3.222	.552	1	4	56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	国公立大学病院	318	3.264	.599	2	4
	私立大学病院	202	3.317	.572	1	4		私立大学病院	200	3.325	.584	2	4
	国公立小児病院	232	3.272	.526	2	4		国公立小児病院	232	3.280	.530	2	4
	私立小児病院	11	3.364	.505	3	4		私立小児病院	11	3.545	.688	2	4
47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある	国公立大学病院	319	3.317	.511	1	4	57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	国公立大学病院	318	3.415	.512	2	4
	私立大学病院	202	3.322	.519	2	4		私立大学病院	202	3.391	.528	2	4
	国公立小児病院	232	3.293	.527	2	4		国公立小児病院	232	3.328	.514	2	4
	私立小児病院	11	3.364	.505	3	4		私立小児病院	11	3.364	.505	3	4
48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	国公立大学病院	317	3.196	.521	1	4	58 小児治験に精通した医師を養成する必要がある	国公立大学病院	319	3.238	.526	1	4
	私立大学病院	202	3.218	.575	1	4		私立大学病院	202	3.208	.587	2	4
	国公立小児病院	231	3.056	.545	1	4		国公立小児病院	231	3.139	.631	1	4
	私立小児病院	11	3.455	.522	3	4		私立小児病院	11	3.273	.467	3	4
49 適応外使用の現状について社会全体に啓発していく必要がある	国公立大学病院	320	3.416	.524	2	4	59 小児治験への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	国公立大学病院	317	3.139	.557	1	4
	私立大学病院	202	3.436	.526	2	4		私立大学病院	201	3.154	.540	1	4
	国公立小児病院	230	3.387	.506	2	4		国公立小児病院	231	3.074	.543	1	4
	私立小児病院	11	3.455	.522	3	4		私立小児病院	11	3.273	.467	3	4
50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	国公立大学病院	315	3.076	.570	1	4	60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	国公立大学病院	317	3.227	.508	2	4
	私立大学病院	200	3.125	.520	2	4		私立大学病院	197	3.228	.519	2	4
	国公立小児病院	225	3.093	.555	1	4		国公立小児病院	228	3.171	.516	1	4
	私立小児病院	11	3.273	.467	3	4		私立小児病院	11	3.182	.405	3	4